

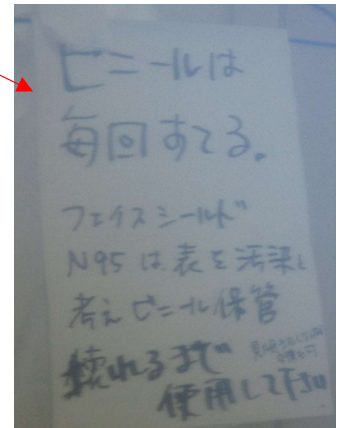
新型コロナ院内発生時の対応

- 施設管理：ゾーニングを徹底。

初期対応：感染者居室前にビニールカーテンを設置し汚染、非汚染を徹底した。



カーテン内に必要物品
を置いておく。



←1F 病棟

2F 東病棟⇒





ナースステーションは、**グリーンゾーン**

ローカは**イエローゾーン**

居室は**レッドゾーン**

ナースステーションは、ビニールで覆い感染を持ち込まないようにする。



職員通用口から、病棟入り口

この先イエローゾーンへの注意喚起と、マスク、手指衛生用アルコールの設置。

その他にも、2 階階段出入口、エレベータ出入口 外来から 1 階病棟出入口に設置。

グリーンゾーンからイエローゾーンへ入ることを示すテープ（視覚で、意識を持たせる。）



感染者のいる居室前には、ハッキリとわかる

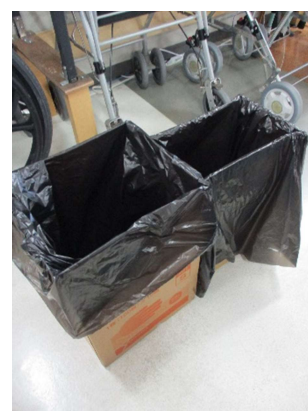


- 物品管理：物品ごとにその都度補充をしていき、部署ごとに持ち出しの記録が簡単にできるようにした。

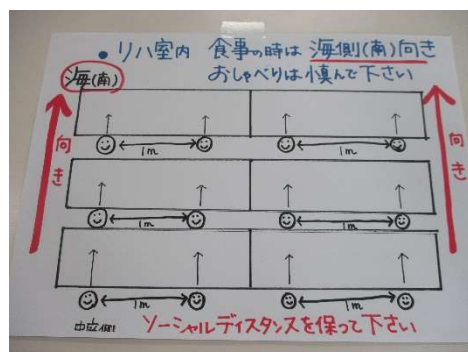
箱での在庫は、リハ室にて一時保管している。アイソレーションガウン等の大きな物品は、物品担当者管理のもと記録して渡す。



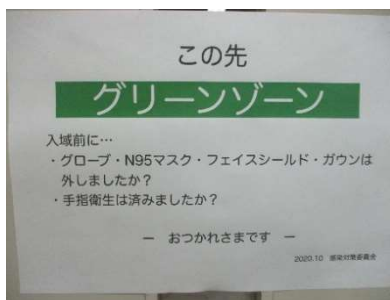
- 感染ゴミ：段ボールに黒いビニール袋を入れて対応。箱を閉じる際は赤いガムテープを使用。その後、さらにビニール袋に入れる。



- ソーシャルディスタンス：休憩室など、密になりやすい場所では、一定方向で座り、向かい合って会話することが無いようにする。



● エリア確認

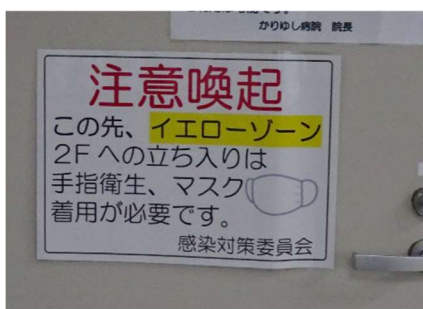


リハ室内出入口。
リハ事務所はグリーンゾーン
廊下はイエローゾーン

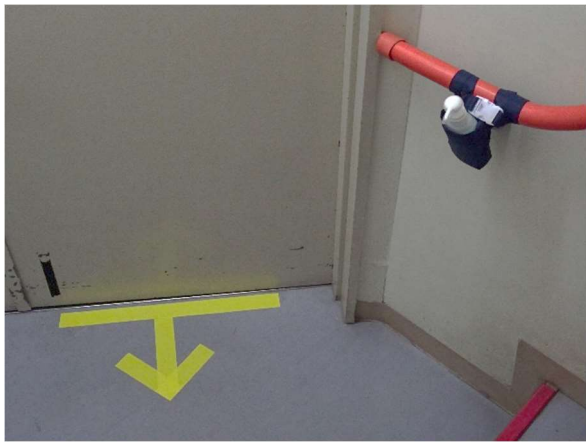
洗面所、トイレとリハ室側は患者の往来がで
いようビニールで封鎖。



● 各出入口には



階段、エレベータ出入口等に掲示
マスク、手指消毒用アルコールも
おいておく。



階段出入口

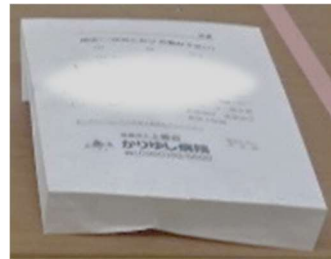


職員通用口から 1 階フロアーへの出入口

- 個人管理：N95 マスク、フェイスシールドなどの、個人に支給された物品の管理は、使用後に消毒を行い、個人個人で管理する。



個人個人で名前を記載し、袋に入れ
保管管理



フェイスシールドは名前を記載した
Uパックに入れ洗濯はさみで釣るし
ておく。 ↓

N95 マスクの保管は、個人個人で
タッパー等に保管



● 環境整備



環境整備は、アルコール除菌剤を希釈して使用。物品を置いている台や、手すりなどを入念に拭く。



個人使用のフェイスシールドや N95 マスクは、使用後にエタノールで拭き管理を行う。



居室前の衛生用品等も整理整頓されていることで清潔に保つことができる。

- *探しているものが見つからず、不要に多くの物品に触れることがなくなる。
- *見た目で、どこに何があるかわかるようにする。
- *在庫管理もしやすいため、補充の目安がわかる



● 2 階食堂の活用



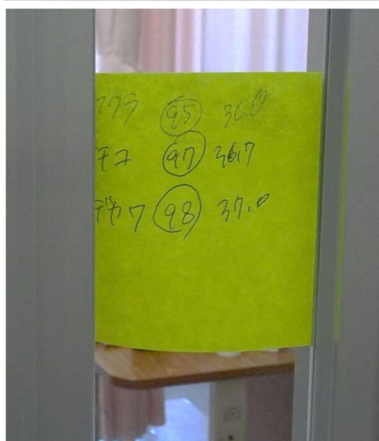
廊下に近い方はイエローゾーン
海側、奥の方はグリーンゾーンと位置づ
け、リハビリ再開時に活用できるよう
明確にした。

● 必要な物資（思いもよらなかった）



足元開閉のゴミ箱が大量に必要となっ
た。

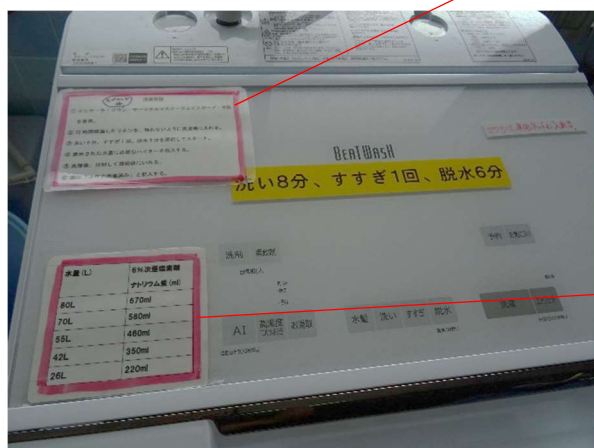
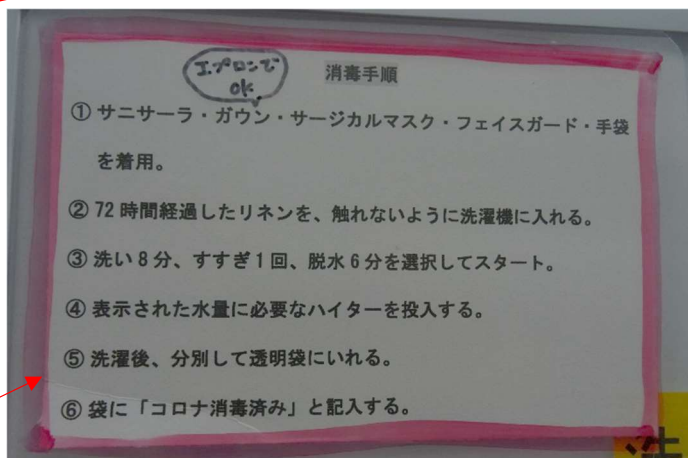
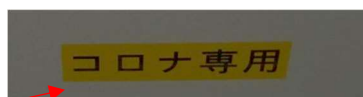
今回、島内での調達が困難となったた
め、県立八重山病院の備蓄を借用
45L×28 20L×2



*付箋紙（大）：不要に何度も入室することが無いよう
体温等の情報を付箋に記載し、貼っておく

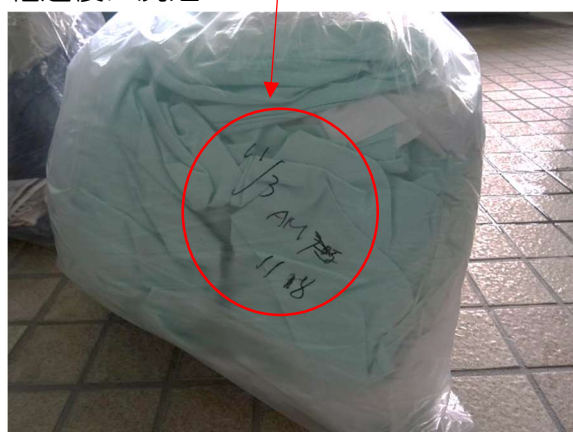
*その他：部屋ごとにハサミ、体温計、パルスオキシメ
ータ、洗濯機（Jof専用）、テーブル（今回、急ぎ椅子
で代用）

● リネン、陽性者の衣類等：



水量 (L)	6%次亜塩素酸 ナトリウム量 (ml)
80L	670ml
70L	580ml
55L	460ml
42L	350ml
26L	220ml

専用の洗濯機に入れる前に、ビニール袋に入れ 72 時間経過後に洗濯機にて洗い、委託業者へ。預かった日時を記載し、72 時間の経過を確認。陽性患者様の衣類等も同様 72 時間経過後に洗濯へ



● 対策本部

最初の患者を搬送後、直ちに休診のお知らせを作成し、玄関シャッターへ張り出し。

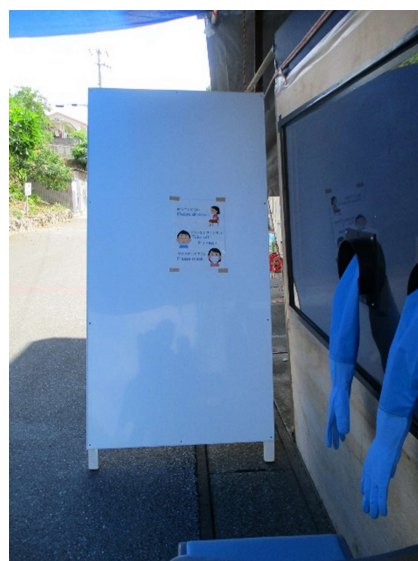
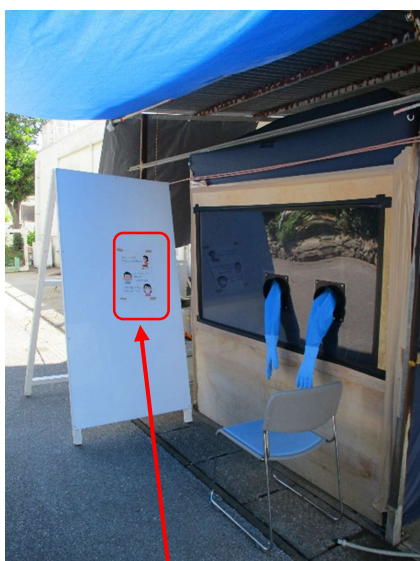


対策本部を
南会議室に設置
朝 8:30～
夕 17:30～
各病棟、聖紫花フロア
患者の状況を報告し、
感染の広がり早期に
PCR 検査実施に向けて
調整を図る。

出席者

かりゆし病院：理事長、院長、他常勤医師（5名）、事務長、看護部長、副看護部長、1F 師長、2FW 師長、2FE 師長、外来師長、検査課リハ課、医事課、地域連携室、薬局、栄養課、健診、総務
聖紫花の杜：施設長、事務長、看護主任、入所課長、通所課長、相談員、リハビリ
外部より：八重山病院（医師、感染認定看護師）、DMAT 事務局、JapanHeart 他

● PCR 検体採取場



- 搬送車輛：患者側、運転席側に養生を行う。
搬送後は、毎回アルコールを車内に噴霧しふき取りを行う。



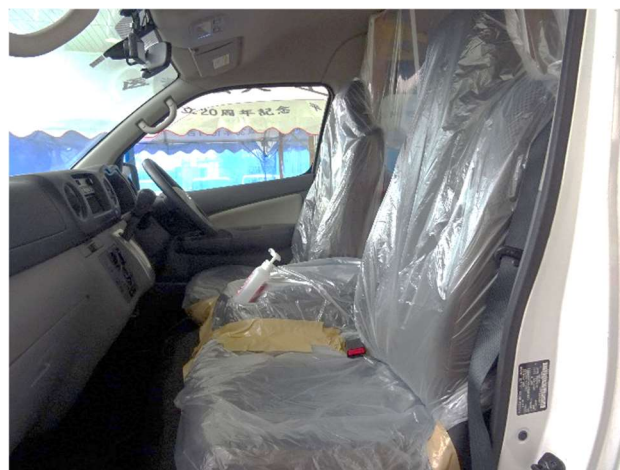
正面より



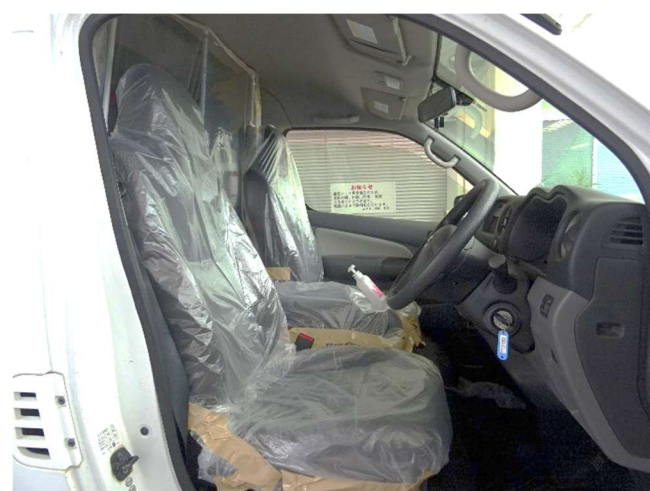
患者、介助者側乗降口より



2 段に養生



助手席側より



運転席側より

搬送時、窓を開け十分に換気ができるようにする。
搬送が終了するまでの期間、専用車両とし夜間はドアを開けたままにしておく

● 搬送時の防護服

防護具はフード付きの
つなぎでなければ、セット
になっているキャップを
被る。



ゴーグル又はフェイスシールド

N95 マスク

プラスチック手袋 2 枚重ね

介助者は靴カバーを
装着する。

運転手は、アクセル、ブレー
キの妨げになるようであれ
ば、装着しなくてもよい。

● リネン、廃棄物処理：コロナによる感染ゴミは、通常の処理に加え、個々にビニール袋に入れて対応。



浴室にて、下処理されたリネン類は
リネン庫内に、袋（新しいビニール袋）
に入れた状態で、「消毒済」と記載し他の
清潔なリネンとは別に置く。

